

## 期末テスト準備

中学生にとって1学期最重要なイベントは何かと言えば、「期末テスト」ではないでしょうか。特にほとんどの中学では中間テストが実施されないため、このテストの結果が通知表に大きく反映されます。中1生の中には初めての定期テストになる生徒もいます。

では、期末テストを受ける際の留意点を3点挙げておきます

- ① 簡単な問題と難しい問題が混在します。初めて見る問題の正解可能性は低いので、まずできる問題を落ち着いて確実にやるようにすること。
- ② 中1のテストでも極端に平均点が低いテストもありますので、点数だけ見て落ち込んだり、「苦手だ」と自分で勝手に判断したりしないこと。
- ③ 返却されたテストは必ず、まちがい直しをすること。できれば学校の担当教科の先生に提出すること。  
〔野垣 勝彦〕

### 5月・6月のおもなスケジュール

5/26	日	第2回公開テスト(小4~中2)
6/1	土	中1保護者会(13:00~14:30) 中2保護者会(15:00~16:30)
2	日	英検1次試験
9	日	第2回公開テスト(中3)
15	土	期末直前ゼミ 期末攻略深夜特訓
16	日	ワークGARIBEN
17~ 22		期末対策プレミアムウィーク
22	土	期末直前ゼミ
23	日	第1回三田祥雲館模試
30	日	教育相談会①【授業なし】

※教育相談会は6/30~7/2の3日間です。  
予約方法等は後日お伝えいたします。

## 相手を思って書くということ

テストの採点をしていて、私が最も嫌いな答案があります。それは、読めない字で書かれた答案です。美しいとか美しくないとかの次元ではなく、読めないのです。

テストは採点者に読んでもらえないと意味がないものです。そうであるにもかかわらず、読めない字で提出するという事は、「お前に採点されたくない」というメッセージにすら感じてしまいます。理解に苦しみます。

誰かに読んでもらうものを書くときに丁寧に書くことは、そんなに難しいことでしょうか。1画ずつ書くことはそんなに時間がかかるのでしょうか。たったそれだけの労力を惜しむ人が、成績を上げられるとは思えません。今一度、考えてみてください。〔金子祐太〕



100066  
特進館学院が、公益社団法人「全国学習塾協会(JJA)」より「AAA」学習塾としての認証を受けました。全国5万塾中43社兵庫県では2番目の快挙です。

### 3月の「自習王」決定!

★中学生の部  
中3 丸林美遥 89.5 時間  
★高校生の部  
高3 坊垣陽香 115.3 時間

## 自己主張をする

「出る杭は打たれる」という言葉がありますが、我々日本人はあまり自己主張をしません。それは、周りの目や言動が気になるからでしょう。学習においても、自習室を積極的に活用している生徒は、名前も顔も覚えられ、その存在が自己主張となります。特進館学院での学習環境を大いに活用することで成績向上につなげましょう。〔澤井伸一〕

今回の振替分に、5/26・6/9(日)に実施されます。公開テストの受験料を合算させていただきます。金額の詳細につきましては明細のご確認をお願いいたします。

6月分 5月 27日(月)  
学費の振替

## 合格実績を、ねつ造する塾

世の中で嫌いなもの。渋滞・ゴミ・ブリ・パクチー…色々ありますが、一番嫌いなのが『嘘』。私たち塾業界の人間が、最も大切にしているものの一つに、「合格実績」があります。入試までの長い間、子どもたちと苦楽を一緒にしながら、生み出される汗と涙の結晶。それが合格実績です。この数字は、毎年増加させることに意義があります。だから、多くの塾は「教室数を増やして数字を稼ぐ」のですが、特進館学院は「1教室のみの実績」で、他塾と競い合っているのはご存知の通りです。

ところが、この合格実績を何の罪悪感もなく、ねつ造・水増しする塾が、この地域にいくつもあるという実態を最近知って、やり場のない怒りに襲われています。そういう塾は、当然ながら合格者名の塾内掲示など行いません。その嘘を暴こうとしても、「個人情報保護のため…」などという都合の良い言い訳で、逃げられてしまいます。

でも、そのような塾の愚かな嘘を信じて、我が子を託してしまう親もいます。私たちがコツコツと一人ひとりのために地道に重ねていった努力も、こんな塾長たちに台無しにされてしまうようで、本当に悔しいです。

みなさんにお願ひです。アヤシイ塾を見かけたら、塾内の掲示があるかを探してみてください!〔北村昌弘〕



### 代表北村のお願ひ

特進館通信も、近々100号を迎えます。記事に関するご意見等をお寄せください。  
info@g.tokushinkan.co.jp  
お待ちしております!

## 編集後記

5月初旬から夏の暑さを感じる日もありますが、そろそろ季節は夏。制服も衣替えの時期です。暑さもさることながら、紫外線の強さが気になります。もうすでに晴れた日ではジリジリと音がするくらいの紫外線を感じます。真夏よりもこの時期の紫外線の方が強いともいわれますが、確かに肌への負担がかなりあるように思います。皮膚がんの心配もあることから、最近では子どもたちも日焼け止めが必須になっていたりします。毎年新しいUVケア商品も出てくるので、いろいろ試しながら夏を乗り切りたいものです。